

○金融仲介機能のベンチマークについて

平成28年9月に金融庁から、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価するための指標として、「金融仲介機能のベンチマーク」が公表されました。当金庫では、地域の中小企業や小規模事業者の皆様のライフステージに応じた積極的な支援を行うなど、金融仲介機能の発揮に積極的に取り組む中、今後も地域の活性化に向けた取組みを強化していくため「金融仲介機能のベンチマーク」を活用し、金融仲介機能の質の向上に努めています。

当金庫の平成29年度の金融仲介機能の取組状況については、以下のとおりです。

■当金庫がメインバンク（融資残高1位）として取引を行っている企業のうち、経営指標（売上・営業利益率・労働生産性等）の改善や就業者数の増加が見られた先数及び同先に対する融資額の推移

メイン先数	メイン先の融資残高	経営指標等が改善した先数
1,552 先	814 億円	868 先

*融資残高1位が判明している先を単体ベースで集計しています。

経営指標等が改善した先（868 先）に係る 3年間の事業年度末の融資残高の推移	28/3 期	29/3 期	30/3 期
	478 億円	496 億円	508 億円

■当金庫が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況

条件変更総数	好調先	順調先	不調先
333 先	29 先	103 先	201 先

*売上高を基準に、経営改善計画に対して実績の進捗状況を次のように区分しております。

好調（120%超）、順調（80%～120%）、不調（80%未満）

*経営改善計画を未策定の先は不調先を含めています。

■当金庫が関与した創業、第二創業の件数

支援・関与総件数
58 件

創業支援先数（支援内容別）

創業計画の策定支援	融資（プロパー）	融資（信用保証付）	政府系金融機関等協調融資
16 先	11 先	25 先	6 先

■ライフステージ別の与信先数及び融資額

	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	3,640 先	200 先	121 先	801 先	95 先	406 先
上記先の事業年度末の融資残高	1,338 億円	45 億円	69 億円	346 億円	25 億円	207 億円

*創業期（創業から5年まで）、成長期（売上高平均で直近2期が過去5期の120%超）、安定期（同120%～80%）、

低迷期（同80%未満）、再生期（貸付条件の変更または延滞がある先）

*直近5期間の財務データが入手できない先は集計していないため、合計は合致しません。

■当金庫が事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資額、及び全与信先数及び融資額に占める割合

	先数	融資残高
事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高	926 先	575 億円
上記計数の全与信先数及び全与信先の融資残高に占める割合	25.4%	43.0%

*貸付条件の変更先は含めておりません。

■ソリューション提案先数及び融資額、及び全取引先数及び融資額に占める割合

	全取引先①	ソリューション提案先②	②／①
ソリューション提案先数、及び同先の全取引先数に占める割合	3,640 先	238 先	6.5%
上記先の融資残高、及び同先融資残高の全取引先の融資残高に占める割合	1,338 億円	175 億円	13.1%

*ソリューション提案は、本業支援、経営計画策定支援、創業支援、販路開拓支援、M&A支援、事業承継支援などの提案を行っている先。

*上記提案を実施している先でも、与信取引がない先及び貸付条件の変更先は含めておりません。